



## 暴走する安倍政権と 徹底的に対峙すべく、 来る衆議院選挙を 仲間とともに闘います!

参議院議員 あいほうくみこ

安倍総理は、今年7月～9月期のGDP速報値が予想を下回った景気状況にもかかわらず、「アベノミクス」は失敗ではなかったと、豪語しています。株価の引き上げで潤ったのは誰ですか？ 賃金は本当に上がりましたか？ 円安で本当に輸出が伸びたのですか？ 雇用は本当に増えたのですか？ どれも、突きつけるのは「NO!!」です。

日本の株高の恩恵を受けているのは、多くは外国人投資家やほんの一部の生活に余裕のある人です。賃金は大手の一部は引き上がったでしょうが、多くの労働者は賃上げの恩恵を受けてはいません。雇用者数は増えたかもしれませんが、圧倒的に非正規雇用という不安定雇用者です。金融緩和策による円安によって輸入原材料が高騰し、中小企業を直撃し、9月の円安による倒産は前年同月比の3倍との報道がありました。

このような状況の中、安倍政権は700億円もかけて総選挙に打って出ました。それは、決して国民生活を考えるのことでなく、まだ一定の支持率があるうちに、これから4年間のお墨付きを得ようという、姑息きわまりない身勝手な発想から生まれたものです。

労働法制を岩盤規制だとして労働者保護規制を緩和させる改悪法案を次々と検討し、大企業が都合のよいように労働者を使い捨てにする。株価を引き上げるために、国民の固有財産である公的年金積立金を株購入にシフトする。「地方創生」と言いつつ、地方公務員の賃金削減を進める。少子化対策と言いつつ圧倒的に非正規労働者を増やす。権力者を縛るべき憲法を勝手に解釈変更し、戦争のできる国に変えていく。どれをとっても、国民目線の政治とは思えません。私達は、今回の衆議院選挙においては、自らの選挙行動によって、現政権の政治に「NO!!」を突きつけなければなりません。

今回の選挙は、まさにこの国の先行きを国民に問う選挙だと思います。

ともにがんばりましょう!



# あいくみ、国会レポート

あいくみ情報発信中!!  
<http://aikumi.info>



## ◆ 11月11日、参議院内閣委員会での国家公務員給与関連法改正案の質疑



今回は実に 7 年ぶりとなる月例給・一時金の引き上げとなります。しかし、「給与制度の総合的見直し」は、地域間格差や職種間の格差を引き起こすばかりでなく、地域経済にも与える影響が大きいことなどを指摘しました。また、安倍政権が「女性の活躍」を掲げるのであれば、民間の見本となるべく、まずは国や自治体の非正規公務員の処遇改善と雇用安定を率先して行うべきと質しました。関連としては、財政再生中にある夕張市について、職員の相次ぐ中途退職により、行政執行体制の確保が非常に厳しくなっている状況についての質問をしました。

## ◆ 「ひと」を置いてきぼりにする「まちづくり」って何ですか!?

11月14日、参議院地方創生特別委員会で「まち・ひと・しごと創生法案」の質問に立ちました。いわゆる「地方消滅」論に端を発した、人口減少問題への対策法案ですが、そもそも人口減少の問題、言い換えれば少子化の問題の最大の原因は社会的格差の拡大です。非正規雇用が増大し、年金などの先の保障が十分でない状況の中で、出生率を回復していくことは困難です。このような重要な課題について論じるには、あまりに中身の少ない法案です。また審議日程も拙速で、解散当日に駆け込み成立させるという姿勢からは、「地方創生」に対する本気度を疑わざるを得ません。



## ◆ 労働者、生活者に優しい社会の構築こそをめざしていきます!



臨時国会では、連合をはじめとする多くの働くみなさんによる、「労働者派遣法改悪阻止」のための行動が繰り返し行われ、私も参加させていただきました。生涯低賃金で不安定雇用の増大が危惧される派遣法改悪に留まらず、政府が進めようとしている労働者保護規制の緩和策は、ホワイトカラー・エグゼンプション導入による残業代ゼロ、金銭解雇の肯定化等々、めざす方向はまさに「世界一企業が活躍しやすい国」であり、労働者を単なる「労働力」としてしか捉えていません。私は、働く仲間のみならずともに、人に優しい社会の構築こそをめざしていきます!

## ◆ 「党利党略」解散を反転好機に衆議院総選挙を闘います!!

11月21日の衆議院解散により、安倍政権は臨時国会で行き詰りつつあった政策の論点をうやむやにし、審議しなければならない幾つもの法案、課題をすべて置き去りにしてしまいました。まさに、大義なき投げ出し解散と断ぜざるを得ません。しかし、この解散を安倍政権の暴走を阻止する機会と捉えたいと思います。働く者、生活者が主役となり、立憲主義に基づく平和で安心な社会を次の世代へ引き継ぐために、志を同じくする仲間の衆議院総選挙における当選をめざし、とことん闘い抜きます!

